

子)主催による竹島領土平安祈願祭が二 月二十一日神社庁神殿で斎行された。 島根県神道青年協議会 野上郁

島根県神道青年協議会 巨

史

庁

員、支部長をはじめ、神社総代会、神社はあったが万全な対策をとり、神社庁役 感染症の影響により厳しい現状のなかでの日に合わせ毎年斎行している。今年は領有権回復と平和的な解決を願い、竹島 で十四回目となるこの祈願祭は、 神社庁神殿において執り行われた。本年 治連盟島根県本部青年隊 指定団体、 の共催により竹島領土平安祈願祭が 支部長をはじめ、 神政連出雲市議会議 (日)、 島根県神道青年 竹島の

> 根県神社庁 **∓** 699 - 0701 出雲市大社町杵築東 286 0853-53-2149 0853-53-2582



第 349号



有の領土であるという意識昂揚を目的に連盟島根県本部青年隊では竹島は日本固島根県神道青年協議会並びに神道政治くの参列者のもと、厳粛な祭典となった。 竹島啓発ポスターとティッシュを作成し れてもらい、 島の日記念式典の資料にティッシュを入 青年神職会に配布した。また、今回は竹 県内神社、青年会議所等を始め、 日本会議島根の各会長など、 県外の

ようにした。 今年の竹



の主張が正しい いことを知っていただきた

祭典奉仕者

主 安達 和巳 松江支部

飯石支部

宮川 龍哉 邑智支部



式 助 教 研 修 会

祭式助教並びに候補 が子県祭式助教の指 が子県祭式助教の指 が子県祭式講師、金築 | 神社庁で開催された。| 部祭式助教研修会が | 一月二十三日に支 牛尾充、 日研修を修了 今井昭紀









に斎行された。 関係者の参列が あった。 7一月二十七日 神社庁新年祭









秦 楽 集 本 秦 楽 楽 本

 牛尾
 積並

 牛尾
 有並

 素記
 素記





庁



 祭典奉仕者

 祭 員 秦 崇弘

 祭 員 岸 治

 海 樂 稲垣 俊輔

 大 石橋 淳一

 本 米 石橋 淳一

 本 米 石橋 淳一

宗弘 (八束) 宗弘 (八束) 冷輔 (八束) 淳一 (八束) 充 (祭祀委員長) 長外役員支部長参列のもと斎行された。祭併神宮大麻暦頒布終了奉告祭が角河庁二月二十四日神社庁神殿において祈年二月二十四日神社庁神殿において祈年

令和2年度 神宮大麻及暦頒布実績表

項目 支部		大		ţ	麻		大麻	過去3年の推移				暦	
		大麻(ふるさと便)		中大麻	大大麻	合計 頒布率		平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	前年比	暦	大暦
松	江	8,693	(0)	118	65	8,876	14.0%	9,528	9,457	9,530	△ 654	0	3
八	束	9,368	(33)	590	338	10,296	53.6%	10,834	10,568	10,441	△ 145	14	5
能	義	2,341	(116)	245	41	2,627	71.2%	2,756	2,720	2,690	△ 63	24	1
安	来	4,078	(161)	66	0	4,144	45.6%	4,236	4,232	4,212	△ 68	11	1
仁	多	3,526	(334)	40	18	3,584	80.5%	3,876	3,809	3,708	△ 124	1	0
大	原	8,669	(206)	91	37	8,797	109.4%	9,187	9,135	9,051	△ 254	501	1
飯	石	5,262	(366)	2	5	5,269	76.4%	5,563	5,457	5,391	△ 122	47	1
出雲	大社	769	(4)	0	31	800	133.3%	856	837	804	$\triangle 4$	0	0
簸	Ш	8,416	(52)	13	27	8,456	51.5%	8,806	8,729	8,598	△ 142	27	0
出	雲	14,780	(337)	231	72	15,083	35.7%	15,876	16,026	15,841	△ 758	85	0
大	田	6,078	(84)	32	8	6,118	45.1%	6,475	6,486	6,371	△ 253	0	0
邑	智	5,719	(0)	29	6	5,754	67.2%	6,412	6,163	5,992	△ 238	21	0
那	賀	3,229	(0)	363	15	3,607	59.5%	3,880	3,909	3,853	△ 246	18	2
江	津	3,741	(300)	33	0	3,774	45.7%	3,861	4,055	4,015	△ 241	0	0
浜	田	5,696	(70)	139	7	5,842	31.9%	6,106	6,089	6,054	△ 212	52	0
益	田	8,265	(23)	857	189	9,311	49.1%	10,008	9,865	9,705	△ 394	29	1
鹿	足	2,850	(34)	481	77	3,408	55.9%	3,595	3,560	3,481	△ 73	7	2
島	前	1,385	(0)	5	1	1,391	48.5%	1,556	1,541	1,531	△ 140	5	3
島	後	3,517	(61)	16	3	3,536	57.0%	3,730	3,691	3,650	△ 114	3	1
その	の他	0	(0)	0		0		40	4	0		0	0
計		106,382	(2181)	3,351	940	110,673	42.0%	117,181	116,333	114,918	△ 4,245	845	21



催し、研修生八名が 職研修を神社庁を 研修を修了した。 十四日、 会場に二月十三日 令和二年度初任神 一日の四日間で開 四月十日

研修生名簿

氏	名	支	部
古瀬	貴一	大	原
新	吉博	出雲	大社
熊野	博元	出雲	大社
錦田	寛史	簸	Ш
江角	恵	出	雲
花田夕	人美子	出	雲
有村康	長太郎	鹿	足
八幡	洋公	島	後
聴古湖	順光憲	大	原

※ 聴は聴講生

謝 辞

言御礼申し上げます。 令和二年度初任神職研修修了生を代表し、

加致しました。 実施され、研修生八名、 此の度の研修会は、二月と四月の二回にわたり 聴講生一名の計九名が参

ることが出来ました。 なりましたが、本日を以て無事に閉講の日を迎え 症の影響により、宿泊を伴わない変則的な研修と 本年は、昨年から続く新型コロナウイルス感染

が出来ましたのは、 神職として話が出来ました。このコロナ禍において が始まると、年齢や立場を超えて、同じ志を持つ 式参拝の際には緊張しておりましたが、いざ研修 る方もいらっしゃいました。 私自身、出雲大社正 生時代にお世話になった方やはじめてお目にかか して大切な絆・繋がりになりました。 今回の研修を受講された方の中には、 講義では、全七科目を受講致しました。 研修を通じて受講生の皆様と交流すること 初任神職である私共にとりま 私が学 初任

第349号(令和3年5月15日)

ことは、誠に有難く深く御礼申し上げます。 研修ということで科目も基礎に重きがおかれてお 神職となって改めて基礎・基本を学べました

に重要であると痛感致しました。 とが、深く心に残っています。たとえ勉強をして て、自らを正しい方向へ修正していくことが非常 先達からご指導を賜り、研修生と意見を交わし に自身に付いた癖を講師の皆様から修正戴いたこ 出来たつもりでいても、こうして研修等を通じて 中でも祭祀関係実技において知らず知らずの内

し上げ、お礼の挨拶とさせていただきます。 今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申 さった神社庁の皆様方へ心より感謝申し上げます。 した講師の先生方、並びに研修の場を設けてくだ 最後となりましたが、講義にてご指導戴きま まいります。

社にて奉仕する際の糧として、日日研鑽を重ねて

この研修で学んだことを決して忘れず、奉務神

令和三年四月十1日 修了生代表 有村康太郎

神 職 身 分 昇 級

発令年月日順で掲載

級上 令和二年九月十日付

村 田 本 有 宜 郷 大田

龍

田 神

夫

(簸川)

飯

澤 重 (島後)

八 級 令和二年九月十日付

神 社 宮司

小

田

(簸川)

尾充 品

庁

特 須 佐 令和三年二月三日付

神 社

須 佐 建 紀 飯 石

加 級 令和三年二月二十日付

茂 志 神 社 宮司

Щ 八 Ш 祢 康

(松江)

狩

木 邦 幸 (大原)

(5)

級 **令和三年三月一**

篠 \mathbb{H} 範 雅

級 令和三年三月十 · 日付

玉 神 2 宮和司

佐

長 妻 夫 (大原)

神 職 位 昇

浄

令和三年三月一 日付

 \mathbb{H} 範 雅 益 田



幡 日付

八

益 田

令和三年二月三日付

功

績

表彰

佐 建 紀

(飯石)

第三条1

那 賣 社 藤 (仁多)

佐 田 宮司 (出雲)

正 宮 巳 (江津

岩

根

屋 子 役員

社 橋

神松神石 社 﨑 ^正 役 員 芳 韻 誠 (仁多)

嚴

島

新

宮

達

令和三年 神 職養成階位検定講習会開催

主 催 島根県神社庁

【開講階位・期間】

(甲) 令和三年八月 ~八月 十四日(土) 二日(月)

権正階 (乙) 令和三年八月十七日(火)

→八月二十九日(日)

階 甲 令和三年八月 ~八月 十四日(土 二日(月)

直

(乙) 令和三年八月十七日(火)

(開催場所) 『島根県神社庁』 一八月二十九日(日

出願条件 島根県出雲市大社町杵築東二八六番地

権正階…直階を有し年齢満十八歳以上の者 階…高等学校以上の学校卒業者又はこ 催者において適当と認めた者 れに準ずる学力を有する者で、主

※権正階・直階共に三〇分程度の正座がで きる者

※分割受講について

二年以内に修了出来る者に限ります。 当庁では権正階・直階共に甲・乙課程を 課程(甲・乙)を権正階は三年、 分割受講することが可能です。但し、全

募集人数

※新型コロナウイルス感染症対策の観点か 権正階十五名・直階十五名 ますので予めご了承下さい。 者が定員を超えた場合、入所選考を行い ら人数制限を設けております。受講希望

※分割受講中の者及び県内在住者(または

(受講料)

権正階(甲・乙課程) 階 (甲・乙課程) 各 七五、〇〇〇円 七〇、〇〇〇円

※全課程受講した場合

権正階 一四〇、〇〇〇円 一五〇、〇〇〇円

※県内の受講生については、 一○、○○○円の助成をする。

※新型コロナウイルス感染症対策の観点よ ※その他、禊実習費、社頭学習費含む。 り、本年は合宿は行いません。

(出願手続)

提出書類

受講申請書

②履歴書 (市販履歴書可 ※必ず顔写真貼付、推薦欄には奉職予定神 社宮司の推薦を記載して下さい。

③書籍申込書

④受講資格証明書類 権正階…直階階位證写し

⑤返信用封筒 階…高等学校以上の最終学歴卒業証 明書写し(又は卒業証書写し)

※角形3号封筒 氏名を表記し、二五〇円切手を貼付して 下さい。 (B5版) に自分の住所:

⑥推薦書 長用) (当該都道府県神社庁長及び支部

※支部長が『推薦の事由』 押印願います。 に記載した上で

申込期限

県内奉職予定者)を優先的に選考する。

庁経由)にて島根県神社庁必着。 六月十四日までに支部経由(他県は神社

※期限を過ぎた申し込みは、受講許可通 迷惑が及びますので締切厳守願います。 の発送期日等に影響し、全ての受講生に

宿

※ご希望の方には出雲市内のホテルを紹介 の講習となりますので、各自手配願います。 くだい。 致しますので、早めに神社庁までご連絡 神社庁には宿泊施設が無いため通講制で

【その他】

・申込書類は、不備があれば再提出を求める 場合があります。

・長期講習につき、体力に自信の無い方はそ の点充分にご検討の上でお申し込み下さい。

・新型コロナウイルス感染症対策の観点より、 受講生には講習会開始前の一定期間、健康 ださい。 観察等を義務づけますので、ご承知置きく

感染症の拡大状況によっては、開催形態の 変更または中止となる場合があります。 ※分割受講に関する事、願書請求、その他 までお問い合わせ下さい。 不明な点がございましたら島根県神社

fa 〇八五三-五三-二五八島根県神社庁 〇八五三-五三-二一四島根県神社庁 〇八五三-五三-二一四島根県出雲市大社町杵築東二八六番地〒六九九-〇七〇一

〇八五三-五三-二五八二

保神社宮司、

八東支部

神 職 任 免 (令和3年2月15日~4月30日)

免	任	任	任	任	任	任	任	免	免	任	任	任免
3 . 4	3 . 4 .	3 . 4 .	3 . 4	3 . 4	3 . 4	3 . 4	3 . 4	3	3 . 3 . 5	3	3 . 2 . 15	発令月日
130 熊野大社	25 天 満 宮	25 惠曇神社	新宮神社	1 八 幡 宮	1 天 満 宮	1 出雲大社	1 出雲大社	31 須佐神社	25 出雲大社	1 山狭神社	15 賣布神社	I 奉職神社名
松江市八雲町	松江市鹿島町	松江市鹿島町	仁多郡奥出雲町	浜田市弥栄町	仁多郡奥出雲町	出雲市大社町	出雲市大社町	出雲市佐田町	出雲市大社町	安来市広瀬町	松江市和多見町	鎮座地
本	兼	本	兼	本	兼	本	本	本	本	兼	本	兼本 務務
権祢宜	袮 宜	袮 宜	宮司	袮 宜	宮司	権祢宜	権祢宜	権祢宜	主典	宮司	祢 宜	職名
田中	宮永	宮永	恩田	寺本	陶山	渡邊	高木	横山	中野	須山	青戸	氏
吉男	安崇	安崇	洋 享	義弘	浩嗣	喬士	秀輝	猛	克彦	修司	崇年	名

務 H 誌 (令和3年1月~3月

1月4日 御用始祭

1 月 23 日 支部祭式助教研修会 (研修生10名

1 月 26 日 正·副庁長会

1 月 27 日 役員会

" 新年祭 斎主 尾崎靖記 (八幡宮宮司、 浜田支部

2 月 13 日 参列) 身分昇級伝達式 於 神社庁神殿 (角河庁長、 篠田副庁長

2 2 月月 18 13 ~ 19 14 日 日 中国地区神社庁連絡会議 初任神職研修(前期)(研修生8名、 於 ホテルグランヴィ 聴講生1名) · ア 岡

2月21日 神青協主催竹島領土平安祈願祭 Ш (角河庁長、忌部・篠田副庁長、 金築参事出席 神社庁神殿

2 月 24 日 祈年祭併神宮大麻暦頒布終了奉告祭 庁長参列 斎主 横山陽之 (篠田 (美

2 月 24 日

3月2日 第5回神社庁職員研修会(Web会議) (和田主事出

席

3 3 月 月 19 12 日 日 身分昇級伝達式 於 神社庁神殿 (角河庁長出席

神社庁長会(Web会議)(角河庁長出席)

3 月 21 H ヴィア京都(角河庁長参列) 佐古一冽大人命一年祭並びに偲ぶ会 於 ホテルグラン

3 月 25 日 築参事出席 净階一級証書伝達式 於 太皷谷稲成神社 (角河庁長、

金

3月30日 研修所講師会議並階位検定講習会講師会議

" 臨時教化委員会

3 月 31 日 過疎地域神社活性化推進施策指定神社視察 支部吉田主事、 町(忌部副庁長、牛尾教化委員長、米澤島後支部長、 賀茂那備神社野津研吾宮司、 和田主事出 於 隠岐の島 .島後

幽

鹿足郡吉賀 酊

新宮神社 令和三年三 月 宮 十八日 司

末

尚

正

享年七

七歳 文

西林木町 伊努神社 令和三年三 月三 宮 十 司 日 花 享年八· + -七 弘 歳

令和三年四月三佐太神社 宮 司 朝 山 享年九十四

歳

謹んで哀悼の意を表します。

神

職

松江

市

:鹿島町

帰

出雲市

島根県神社庁長 角 河 和 幸

神 社 庁 職

員

異

動

退 任

副

録 事 宮ゃ 里ざ 慎二郎

(令和三年三月三十一日付)

朝山神社の神迎祭と神送祭

1404)を社☆ガール神社巡りで訪祭が行われる朝山神社(出雲市朝山町令和2年度の旧暦10月1日、神迎

朝山神社は標高80mの宇比多伎山山

報



田郷の条に『郡家の東南五里五十六歩の所にある神魂命の御子、真玉着玉之の所にある神魂命の御子、真玉着玉之とのから、朝山という。』と記されるおだから、朝山という。』と記されるおだから、朝山という。』と記されるおだから、朝山という。』と記されるおだから、朝山という。』と記されるおだから、朝山という。』と記されるおがら、朝山という。』と記されるおです。宇比多伎山は風土記・神門郡、朝頂にあり、出雲国風土記・神門郡、朝頂にあり、出雲国風土記・神門郡、朝

いました。
人ほどの参拝者とメディアが集まってる貴重な機会であるため、境内には回る力をであるため、境内には回いました。

ます。そして八百万の神々が10日間をおり、そして八百万の神々が10日間をから鳥居の前に設えられた祭壇まで向かわれ、参拝者がそれに続きます。鳥居の外で神籬に神様をお迎えし宮司と氏子総代は、神籬を白い布で囲み、杉林の参道を抜けて境内をぐるりと廻り神事はまず、拝殿でお祓いを終えた神事はまず、拝殿でお祓いを終えた

事を終えられました。過ごされる十九社へ神籬を遷され、神

遠くに日本海を一望する気持ちの良いてくださいました。眼下には簸川平野、の方が、宇比多岐山の展望台を案内しいただき、境内を後にしようとしたといが配られました。希望者は御朱印をりが配られました。希望者は御朱印を



庁

ときと同じ神社の入口まで運ばれまし 神迎祭の巻き戻しを見ているようです。 玉串拝礼と続き、神饌が下げられます。 は、平日ということもあり社☆ガール 所で、穏やかでたおやかな出雲の山野 た。秋の穏やかな夕暮れそのもののよ なる稲佐の浜に向けて、お迎えされた 様が過ごされた十九社での祝詞奏上、 の宮司のお祓いから神事が始まり、神 に執り行われました。こちらのお祭り 走を迎えるとは思えない小春日和の日 の光景に暫し時を忘れてしまいました。 白布で覆われた神籬は、次においでに メンバー2名で参加しました。境内で 神送祭は旧暦10月10日、もうじき師

が湧いた参拝となりました。 る他の神社での神在祭の発祥にも興味 風習が始まりとのこと。出雲地域にあ という翌年の稲の品定めを行っていた 朝山神社での神迎祭は、『種組祭』

うな温かな神送祭でした。



松江支部だより、赤所神社宮司 岡弘行

ヨロナ禍に念う

は甚大である。 今や世界中に拡大し、 ウィルス感染症は未だ止まる事を知らず、 一昨年末に中国で発生した新型コロナ 我が国でもその影響

典も従前の様な運営は望めないであろう。 顕著であり、このままでは神社における祭 が経験したことのない状況が続いている。 に行われて来た神賑行事が中止され、 、の参列者も制限、直会も自粛と、 斯界においても、これまで当たり前の様 日常生活においても生活様式の変化は



く 程、 り、祭そのも のが衰退して 的な勤めとな 役員等の義務 では、参列も しているだけ な祭典を斎行 長引けば長引 自粛期間が 形式的

しまう危険性

を孕むことから、 発展しかねない。 そして、 と言い出す人も出て来るのではなかろうか。 「神社は要るのか」との疑念へと 「祭は本当に必要なのか」

とは ますけん」の自治会長の一言で、やむなく 事前の相談もなく、「今年の○○祭は止め 治会の当年の役員にもよるのであろうが 宮司だけで祭を斎行した。氏子にとって祭 る祭事は、昨年度は悉く中止となった。 知らされた。 当地でも、 「賑わい」の要素が強い事を改めて思 自治会が運営主体となって

えるべきか、まさに神社・ われていると言えよう。 此度のコロナ禍に如何に対処 神職の真価が問 乗り越

か。何の為に、誰のために祭を斎行するのか。 来の意味と姿を今一度氏子へ周知すると共 である。氏子地域に継承されて来た祭の本 の役割があり、 本来、 地域にとって、氏子にとって、 地域への愛着を醸成することが、 地域の歴史を氏子と共に再認識 神社には地域共同体の要として 地域に社が設けられた要因 祭とは 地道 何

月待 例えば、 社日・佐吉兆、そして当に疫病神で 地域の地主・荒神 水神・ H

ではあるが王道であろう。

く解説する講座を神社を会場にして 芸能等の伝統的な知恵と工夫について親 や各種祭事での神饌や郷土料理・注連縄 ある疱瘡神についての事訳、 るというのは如何であろうか。 また正 開催す 戸飾

思いつく儘に書かせてもらったが、 此 度

のコロナ禍

あり、 と念う。 は、 に危急存亡 来の難儀で 後の試練以 の秋である 新そして戦 明治維 まさ





記

どけを待ち、再建に着手した。 に十トン以上の雪が載っていたことになり、 した。計算してみると、六メートル四方の屋根 倒されるというすさまじいもので、落胆も大き れなら潰れるのも仕方がないと諦めもつき、 かったが、それ以上に自然の力の大きさに驚嘆 九〇度に折れ曲がり、 大雪で窯小屋の屋根が潰れた。 私事に加えて季節外れで恐縮だが、 煙突は倒壊し砕け散った。単管の数本は 周囲の雑木も数本がなぎ 窯には亀裂が入 年明けの

底には、 の日や自然の恵みを知っていたからで、 大自然の猛威への諦めは、その後に訪れる晴れ 直せばよいという発想があった。そこには人知 人力は大自然には及ばないという諦念があった。 思うに、日本人には古来より、 自然への畏敬の念がある。 壊れたら作り

間を待つしかない。 そうはいかない。外出自粛、 便な生活はやり直せばよいが、人の命ばかりは 令された。新型ウイルスも自然の力であるとす ン接種等やるべき事をやり、 るならば諦めるしかなく、落ち込んだ経済や不 大で第四波が訪れ、三回目の緊急事態宣言が発 さて、コロナ禍である。変異株による感染拡 やがて訪れる晴れ ワクチ

発行日 令和三年五月十五根県神社庁報〈第三四九号 〈第三四九号〉 Н

発行者 島根県神社庁

副委員長 広報委員会 陶山 浩正 語工

委委委 員員員 石江宮 﨑角能

彰 壮矩恵充